

ウォールデン・ベロー氏講演会

「沖縄とフィリピン：  
アメリカ新冷戦の最前線」

2023年6月10日(土) 昼1時～ ているる (那覇西町)

ウォールデン・ベロー氏は、ニューヨーク州立大学教授で、現在、京都大学に客員研究員として日本在住。元フィリピン大学教授、元フィリピン下院議員。かつて、フィリピンのマルコス(父)独裁体制との闘争に参加した。特に、世銀・IMF等の国際金融機関が「南」の諸国の貧困や政治的抑圧に深く関わっていることを精力的に批判してきました。

「フォーカス・オン・ザ・グローバル・サウス」の代表として、理論・運動の両面で中心的な役割を果たしています。

最近のアジア情勢をお伝えします。米中対立激化の中で「私たちに選ばせるな」と、マレーシアのマハティール元首相はじめシンガポールのリー・シェンロン氏、ビビアン外相、スリランカのディネシュ・グナワルダ首相、タイのプラユット首相などが、我々の独自の道があると主張しています。マレーシア国防省は「大国も私たちの自己決定権を取り上げることはできない」と沖縄住民が掲げてきた自己決定権に通じる主張も見られます。

「台湾有事」を叫ぶのはアジアでは日本だけではないでしょうか。我々も、東アジアの一員として、彼らとの連帯を視野に入れた行動を切り開いていきませんか(宮城)。

司会：宮城恵美子

開会あいさつ(ダグラス・ラミス)⇒会場Q&A⇒閉会あいさつ(新垣邦雄)

主催：ノーモア沖縄戦命どう宝の会 他、協賛団体を募集中。

問合せ先：新垣(090-2716-6686)・宮城(090-1946-6702)